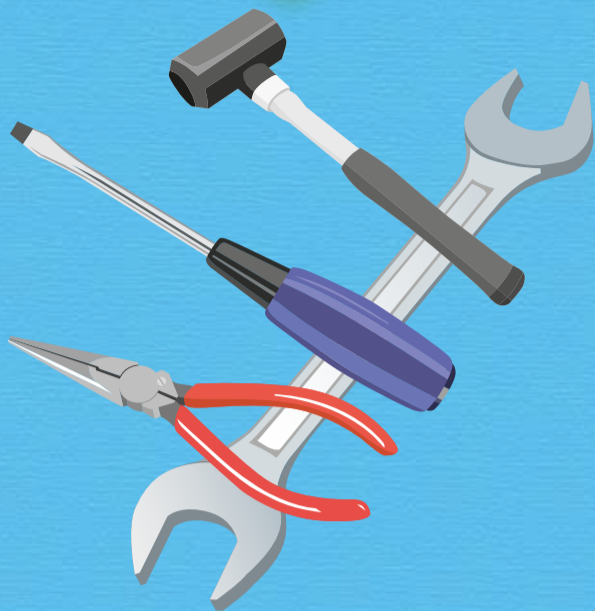
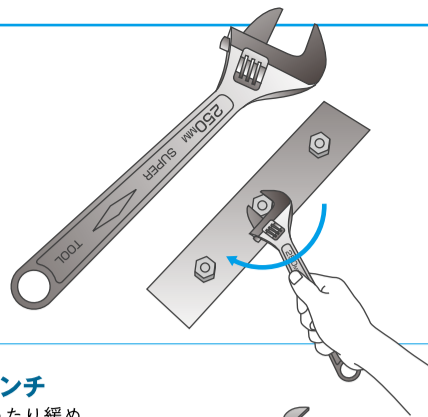


DIY



モンキーレンチ

ボルトやナットを締めたり、緩めたりする工具。ネジの口の開きを調節できるので、家庭にあるほとんどのボルトやナットに対応できる。使うときは、必ず下あご側に回すようにすること。



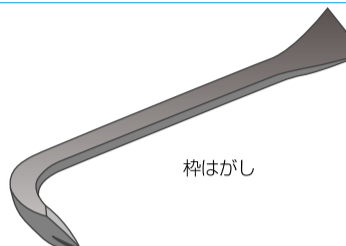
スパナ、メガネレンチ

ナットやボルトを締めたり緩めたりする工具で、自転車や自動車の補修に欠かせない。口が空いているものをスパナ、ナットにかませて使うように輪になっているものをメガネレンチと呼ぶ。どちらも1本で2サイズしかついていないので、ナットのサイズに合わせて選ぶように。



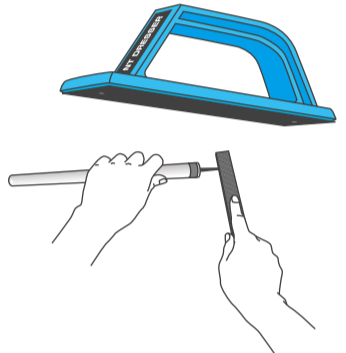
クギヌキ

クギヌキにはカジヤ、パールなどがあるが、家庭で使う場合は、一方がクギ抜きとして、もう一方が金べらとして使える棒はがしがあるといい。主にふすまの張り替えに用いるが、その他にも便利に使える。



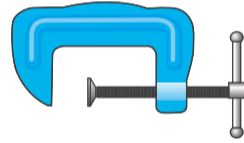
ヤスリ

木工品の表面などを美しく仕上げたいときに用いる工具。サンドペーパーで代用も可能だが、それより研磨スピードが速く、耐久性があるため作業効率が大幅にアップする。家庭で使う場合は、木工用にはNTドレッサーのようなタイプも使いやすい。また、金属用の鉄ヤスリもある。



クランプ

ものを固定する道具で、ヤスリでものを削る際に固定する、接着剤が乾くまで押さえておく、木材と木材をクギで固定するときの仮どめにする、など様々な用途に用いることができる。

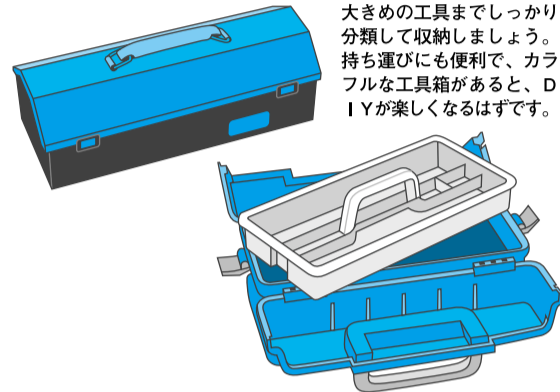


基本的な道具、工具類の選び方と使い方

One Point Advice

きちんとした手入れと収納でいつでもすぐに使える工夫を

使用後は、木くず、鉄くずなどの汚れをよく払い、水気を拭いて防錆剤をスプレーするなど、きちんと手入れをしておきましょう。ノコギリやキリなどは、刃が危険なので、きちんと専用カバーをかけることも大切です。工具や道具類があちこちに散らばっていると、イザというときにたいへん使いづらいので、工具箱に入れて一カ所にしまっておくのがベスト。小さなパーツから大きめの工具までしっかり分類して収納しましょう。持ち運びにも便利で、カラフルな工具箱があると、DIYが楽しくなるはず。



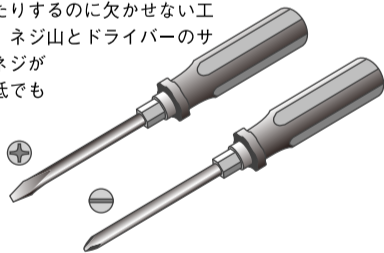
基本的な道具、工具類の選び方と使い方

ネジがちょっと緩んだだけ、そんな場合も道具がないとお手あげです。逆に道具がある程度揃っていると、DIYがぐ〜んと身近で楽しいものになります。ここでは、様々な用途で幅広く使える道具、工具類をご紹介します。

揃えておきたい道具、工具類

ドライバー

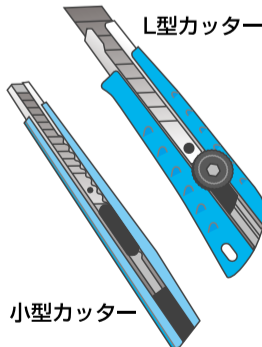
木ネジやビスを締めたり、緩めたりするのに欠かせない工具で、プラスとマイナスがある。ネジ山とドライバーのサイズが違うとネジ山をつぶしてネジが役に立たなくなるので注意。最低でも大小2本ずつは揃えておきたい。先端を取り替えるセットタイプを購入する場合は接続部がしっかりしたものを選ぶのがポイント。



カッター

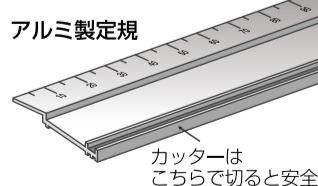
障子やふすま、壁紙の張り替えのときなど紙を切るのに便利な小型の刃の薄いタイプと、段ボール、薄いベニヤ板、クッションフロアなどを切るのに厚いL型と呼ばれるタイプの両方を揃えておくように。

使用するときは、手を切らないように注意を。刃をまめに折ってよく切れる刃を使うことがきれいに切るコツ。厚いものを切る場合は、最初は軽く引き、2〜3回に分けて切るようにするとスムーズに切れる。



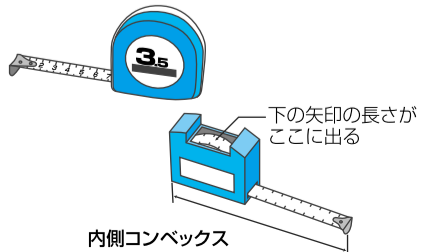
直尺

長さを測る、線を引く、カッターで直線を切る場合に使用する。いろいろなタイプがあるが、カッターで切る場合は金属製のものを使うこと。あまり長すぎても使いにくいので、60cmから購入するのなら、アルミ製で、軽くてすべりにくく、カッターを切る側が厚くなっているタイプがおすすめ。



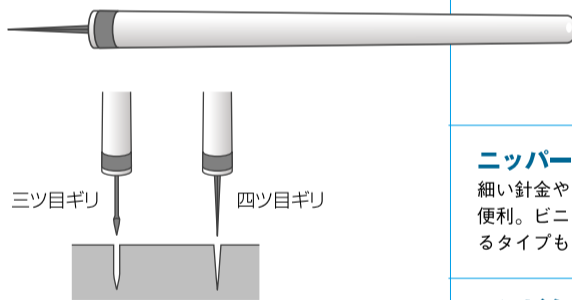
コンベックス

メジャー、巻き尺とも呼ばれる長さを測るための道具。壁や床を測ることもあるので、最低3.5mの長さは欲しいところ。先端の金具を引っ掛けて使っても、押し当てて使っても正確に測れるように金具の厚みを調整するため、先端の金具に遊びがある。壁と壁の間など、内寸を正確に測りたいときは、内測コンベックスがあると便利。



キリ

穴をあけるための道具で、クギを打つときや木ネジをネジ込む際に下穴をあけるのにも用いる。刃の形状が4種類あるが、1本目は三つ目ギリ、2本目は四つ目ギリを揃えるようにすると幅広く使える。押さえ付けて無理に力を入れると刃先を傷めることがあるので、両手で挟んでゆっくり回し、もみ降ろすように使うのがコツ。



カナヅチ

家庭で使う場合は、クギ抜きのついたネイルハンマーがあると用途が広がる。木工用として1本用意するのなら、両口ゲンノウがお勧め。最初は平らな面で打ち、打ち終わりを膨らみのある木殺しの面で打ち込むときれいに仕上げることができる。クギを打つ際は、柄を軽めに握ってひじと手首のスナップを使って打つのがコツ。大きなクギを打つときは大きなカナヅチ、小さなクギを打つときは小さなカナヅチを使うと作業しやすい。



ネイルハンマー

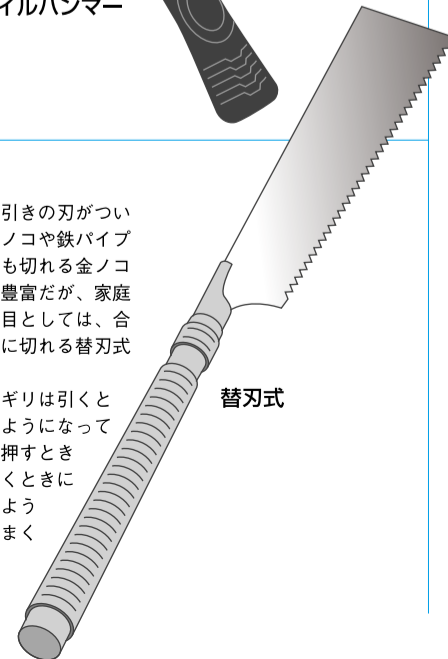
両口ゲンノウ

平

木殺し

ノコギリ

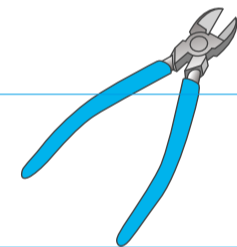
縦引きと横引きの刃がついている両刃ノコギリや鉄パイプやアルミ板も切れる金ノコなど種類も豊富だが、家庭で使う1本目としては、合板もきれいに切れる替刃式がお勧め。日本のノコギリは引くときに切れるようになっていて、押すときは軽く、引くときに力を入れるようにするとうまく切れる。



替刃式

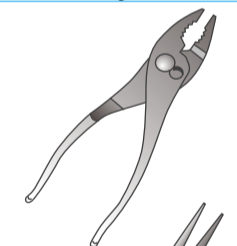
ニッパー

細い針金やコードなどを正確に切断したいときに便利。ビニールコードの皮むき作業もラクにできるタイプもあり、電気関係の補修には不可欠。



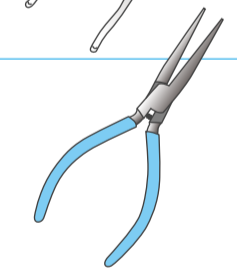
コンビネーションプライヤー

針金を切ったり、ものをつかんだり、くわえたりするときに用いる道具。ペンチでも代用できるが、プライヤーのほうが用途が広がる。接合部分を1段階広げることができるので、もの大きさに合わせて口の開きを変えることができ、幅があるものでもつかむことができる。口の奥は太めの針金を切ることができるようになっている。



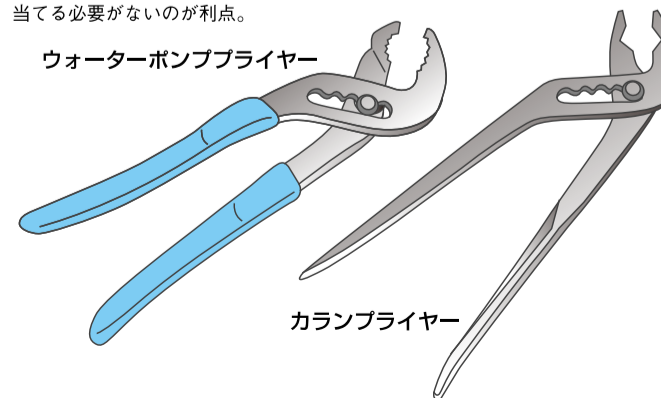
ラジオペンチ

先端が細くスリムなペンチで、細かなものをつかんだり、細いクギを押さえたりと、細かい作業に便利な道具。針金を切ることもでき、ニッパーとコンビネーションプライヤーの間の針金に使うとよい。



ウォーターポンププライヤー

水栓蛇口や水洗トイレの補修に欠かせない工具。カシメネジ部分を移動させると口の開きが5〜6段階に調整でき、さまざまなサイズのをくわえたり、ナットを緩めたり締めたりすることができる。ただ、口がギザギザしているため、水栓蛇口などメッキ部分に使う場合は布などを当てないとキズが付くので注意。カランプライヤーも同様に使えるが、こちらは口が角になっていて布を当てる必要がないのが利点。



ウォーターポンププライヤー

カランプライヤー